



発行人
社団法人
神奈川県造園業協会

横浜市中区常磐町 2-10
伸光ビル 2 階 〒231-0014

電話 (045) 662-8793
662-1767
FAX (045) 662-4381

年間購読料 3,150 円
(郵送料を含む)
ただし会員の購読料は
会費に含まれています。



<http://www.kanagawazoeno.or.jp/>

第61回全国植樹祭を

神奈川県で開催しました!

県民協働で取り組む 森林再生を発信

平成22年5月23日(日)に、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、足柄森林公園丸太の森地区と秦野戸川公園地区の2ヶ所で、神奈川県では初めてとなる、全国植樹祭を開催しました。大会開催にあたりましては、多大なお力添えをいただきまして、誠にありがとうございました。樹祭を開催しました。

当日はあいにく雨でしたが、両会場を合わせて千本の苗木を植樹していただきました。大会開催にあたりましては、多大なお力添えをいただきまして、誠にありがとうございました。

神奈川県には、丹沢大山や箱根など、県土の40%近くを占める約9万5千本の森林があります。手入れ不足等により、荒廃した森林をよみがえらせ、多様な生き物が生きられる豊かな森へ再生し、森林のさまざまな恵みを次の世代に引き継ぐため、県民や企業、団体の皆さんと一緒に様々な取り組みを進めています。第61回全国植樹祭は、「森が育む あなたの心」をテーマに、50年後の神奈川の森林の新しい姿を県民全体で共有し、協働して取り組む本県の森林再生を全国に発信しながら、さらに前進させる大きな節目として開催しました。プロログとして大



【陛下お手植えの様子 (足柄森林公園)】



【皇后陛下のお手植えの様子 (南足柄会場)】



【両陛下によるお手播きの様子 (秦野戸川公園)】

会テーマの作者と大会ポスター原画の作者への感謝状を贈呈、国土緑化記念切手の贈呈が行われました。続いて、谷福丸国土緑化推進機構副理事長の開会のことにより式典が始まり、緑の少年団の子どもたちが大切に育てた苗木を島田泰助林野庁長官、田島一成環境副大臣に贈呈しました。その後、天皇皇后両陛下にケヤキやヤマザクラ、無花粉スギなど6種のお手植えを賜りました。お手植えされた樹木は県民運動のシンボルとして大切に管理、育てられていく予定です。続いて、手話とパントマイムを組み合わせたサインタイムによるアトラクションが披露され、木や森がいつも人間とともにあることが表現されました。

また、白井貴子さんによる大会テーマソング「森へ行こう!」が披露されました。



【植樹の様子 (秦野会場)】

本大会では、植樹行事等へのボランティア参加など、多くの県民の皆さんに協力と参加をいただきました。また、県全体をステージとするために13の市町に設置したサテライト会場にも、多くの県民の皆さんに参加していただき、大会とサテライト会場併せて、県内外から約8万6千人の方々にご参加いただき、県民協働での森林再生にはずみがつきました。今後は、全国植樹祭で高まった森への関心を継承し、前の世代から引き継いだ森林の恵みを子や孫に手渡すため、県民の皆さんと協働で森林再生を進めてまいります。

豊かな森林の恵みを 後生に伝えるために

秦野会場では、三旗掲揚、大会会長の横路孝弘衆議院議長と、松沢成文神奈川県知事による主催者あいさつに続き、緑化功労者等の表彰式が行われた後、両陛下にブナ、コブシなど4種のお手播きを賜りました。また、その後のアトラクションでは、「元気な子ども達のヒップホップダンスパフォーマンスにより、未来の森への思いが表現されました。続いて、佐々木毅国土緑化推進機構理事長の大会宣言、神奈川県知事から仁坂吉伸和歌山県知事(大会シンボルを渡すリレーセレモニー)が行われた後、国吉一夫神奈川県議会議長による閉会のことにより式典が終了しました。

社団法人神奈川県造園業協会
第三十六回通常総会開催



【岸本会長挨拶】



【会長表彰】

第三十六回(社)神奈川県造園業協会通常総会が五月二十一日ホテル横浜ガーデンに於いて出席者百七十名委任状二百六十四通のもと開催されました。

高橋副会長の司会で始まり石川副会長の開会宣言の後、岸本会長より公事業の減少により造園業界を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いているが、一致団結して技術の継承や会員の増強などの課題に取り組んでいきたいと高橋副会長が、次いで第三十四回会長表彰が行われ、技能功労者二十三名を代表して相模庭苑(株)三井悠示様、優秀技能者五十名を代表してデザイン造園(株)関根忠和様、青年優秀技能者十三名を代表して(株)きたむら園小野美千代様に表彰状、記念品が岸本会長より授与されました。

神奈川県造園業協同組合平成二十二年通常総会開催

神奈川県造園業協同組合通常総会が五月二十一日ホテル横浜ガーデンに於いて開催されました。

蛭田議長のもと、平成二十一年度会務報告及び事業報告、決算報告及び監査

報告、平成二十二年年度事業計画、収支予算等四議案が審議され満場一致で承認されました。

次いで、その他報告事項としてグループ共済事業の加入状況と加入促進のお願い並びに二十二年度は支払保険金が支払生命保険料を多額に上回っているため、生命保険料の配当金がないので可能な限り利益剰余金から事業割戻しとして最高限度額一口二千百円を、地区活動費として一口五百円を合算して合計一口二千五百円をお支払いするとの報告がされ承認されました。次いで、懇親会が行なわれ和やかなひとときとなりました。

(社) 日本造園建設業協会 神奈川県支部第三十四回通常総会開催

(社)日本造園建設業協会神奈川県支部第三十四回通常総会が五月二十一日ホテル横浜ガーデンに於いて開催されました。

土志田総務委員長の司会で始まり、田澤副支部長の開会の言葉、山田支部長よりわれわれを取り巻く環境は、厳しいが「二十一世紀」は造園業界にとっては、チャンスでもある。皆が一丸となつて人材育成や技術力向上等の課題に取り組んでい



【山田支部長挨拶】



【退任役員に対する感謝状の授与】

こうと呼びかけた。

支部規定により山田支部長が議長に選出され、平成二十一年度会務報告及び事業報告、平成二十一年度収支決算報告及び決算報告、平成二十二年事業計画、収支予算、任期満了に伴う役員改選議案等六議案が審議され満場一致で承認されました。

次いで、この度退任される役員四名の方々にに対し、支部長より感謝と敬意を表する言葉が添えられて感謝状と記念品が贈呈されました。

役員を選任では、支部長に山田康博氏、副支部長に岡田茂樹氏、田澤重幸氏が再任され、役員を代表して山田支部長の挨拶で通常総会は終了しました。

「第三回かながわ街路樹フォトコンテスト」表彰式開催

(社)日本造園建設業協会神奈川県支部主催の「第三回かながわ街路樹フォトコンテスト」表彰式が五月二十一日、ホテル横浜ガーデンに於いて開催されました。



【支部長表彰状授与】

表彰式では、大河原氏の街路樹フォトコンテスト講評が紹介され、続いて、表彰式が行なわれ、山田支部長より、優秀賞一点、神奈川県知事賞・神奈川県議会議長賞各一点、入選五点、佳作十一点について賞状と賞金等が授与されました。

日頃、何気なく見過ごしがちな街路樹の四季折々の姿を写すことで街路樹の大切さを再認識してもらうため、昨年引き続き第三回フォトコンテストを実施したところ百九十三点の応募があり、藤井英二郎千葉大学教授、大河原雅彦神奈川県新聞編集局映像部カメラマン、山田康博支部長の審査により神奈川県知事賞、神奈川県議会議長賞を始めた十九作品が選定された。

今年も、神造協共催、国土交通省関東地方整備局横浜並びに相武国道事務所、神奈川県・横浜市・川崎市、神奈川県新聞社、テレビ神奈川、NHK横浜放送局の後援を得て「第四回かながわ街路樹フォトコンテスト」の作品を募集しております。



【最優秀賞「街路樹の紅葉狩り」】

社団法人 日本造園建設業協会 神奈川県支部 役員名簿

役職名	氏名	会社名
支部長	山田 康博	(株)サカタのタネ
副支部長	岡田 茂樹	湘南造園(株)
"	田澤 重幸	(株)田澤園
常任幹事	榎本 甲子男	藤造園建設(株)
"	高橋 更一	小島造園(株)
"	田口 正典	(株)田口園芸
幹事	内田 卓弘	(株)内田造園
"	大澤 清男	南武造園建設(株)
"	草柳 豊	(株)原中園
"	富田 改	(株)湘南グリーンサービス
"	土志田 淳	横浜庭苑(株)
"	難波 良雄	(株)難波造園
"	増田 一志	生駒造園土木(株)
"	目代 久典	川崎工苑建設(株)
"	渡邊 宣昭	横浜植木(株)
監事	木村 義広	(株)木村植物園
"	野村 直樹	奈良造園土木(株)

「神奈川のみどりを創り、育てる」集い開催

第三十六回神奈川県造園業協会通常総会・第三十四回日本造園建設業協会神奈川県支部通常総会終了後、「かながわのみどりを創り、育てる」集いが開催されました。

神奈川県造園業協会岸本会長の挨拶に続き、日本造園建設業協会神奈川県支部の役員選任により再任された山田支部長、岡田・田澤副支部長が紹介され、代表して山田支部長より挨拶が行われました。

続いて、ご来賓としてご臨席いただいた神奈川県副知事古尾谷光男様より、最近の世界的な動向として、昨年十二月に第十五回締約国会議（コッ プ15）が開催されるなど、環境問題への関心が全世界的に高まっております、本県でも持続可能な低炭素社会の実現をめざすため「神奈川県地球温暖



【神奈川県議会みどり議員連盟三好会長挨拶】



【古尾谷副知事挨拶】

化対策計画」を本年三月に策定し、この中でCO₂の排出量を削減するため八つの重点施策を定めております。

この計画を踏まえ都市公園の整備や維持管理におきましても、実施可能な内容を位置付けたところであります。

一方、わが国の経済状況や雇用情勢は依然として厳しい状況を呈しており、本県の財政も非常に厳しい状況であります。

こうした中今年度の都市公園関連の当初予算は、対前年比で一・〇三、さらに、緊急経済対策として、国の「地域活性化・きめ細やかな臨時交付金」を活用し、公園施設の補修等を中小企業に配慮して計上しました平成二十一年度二月補正予算を含めると一・三三

を確保することが出来ました。今年度の主な事業としては、昨年度用地取得をしました旧吉田茂邸を県立大磯城山公園の区域を拡大して、公園工事に着手するとともに、クリーン

エネルギーを活用した公園施設として「太陽光発電を利用した充電器施設の整備」や「LED照明の導入」など、県立都市公園で実施する予定であります。

今後とも、活力と魅力あふれた県土を形成し、みどりの確保と既存公園の再整備にも取り組んで参りますので皆様方の優れた技術と豊富な知識・経験をもって引き続きお力添えを賜りますようお願い致します。

また、五月二十三日(日)には、天皇后陛下のご臨席を賜り、第六十一回「全国植樹祭」が「足柄森林公園丸太の森」と「県立秦野戸川公園」を会場として開催されます。

この植樹祭を通じて、「都市と山の緑」に対する本県の取組みを全国に向けて発信したいと考えており、皆様方のご協力もいただきながら是非成功させたいと思っております。

結びにあたり、神奈川県造園業協会及び日本造園建設業協会神奈川県支部の益々のご発展と、本日ご参集の皆様方のご健康とご活躍を心から祈念いたしますとの挨拶があり、次いで、神奈川県議会を代表して神奈川県議会議長長国吉一夫様の挨拶に続きみどり議員

連盟の出席者の紹介があり、代表して神奈川県議会みどり議員連盟会長三好吉清様より力強い励ましと支援の挨拶をいただきました。

ついで、県幹部職員、関係団体の来賓紹介に続き、神奈川県県土整備局長池守典行様の乾杯のご発声で和やかな懇談会となりました。

講習会は、約二時間半に亘り「農薬の適正管理と安全管理」について病害虫防除部副技幹伊與有一氏、「人の健康や環境リスク低減に配慮した樹木防除技術」について社団法人緑の安全推進協会千野義彦氏から事例を示しながら講義された。

この講習会は、農薬散布時の人に対する健康や周辺住民・環境への安全性確保の大切さについて発注する側の行政と受注する造園関係事業所が共通認識を共有し、円滑な病害虫防除を図ることを目的とした重要な講習会です。

講習会には、約二時間半に亘り「農薬の適正管理と安全管理」について病害虫防除部副技幹伊與有一氏、「人の健康や環境リスク低減に配慮した樹木防除技術」について社団法人緑の安全推進協会千野義彦氏から事例を示しながら講義された。



【国吉議長挨拶】

病害虫防除講習会を開催

安全で適正使用を心がける大切さ

当協会と神奈川県農業技術センター病害虫防除部・神奈川県植木連合会と共催で病害虫防除講習会を実施した。

第一回目は、七月一日神奈川県農業技術センター多目的ホールにおいて実施され一三六名が参加した。出席者には、後日各自に「修了証」を発行。

講習会・研究会等のご案内

刈払機取扱安全教育講習会

刈払機取扱者の安全教育と刈払機作業における災害を未然に防止するため、刈払機取扱者安全教育講習会を左記のとおり実施します。

第一回目
日時：平成二十二年九月二十九日(火)九時～

場所：横浜スポーツ医科センター
(日産スタジアム内)
会費：八千円

認定職業訓練 短期課程1・2級 造園技能士コース (学科)研修会

期間：平成二十二年十月十六日(土)～平成二十三年二月十二日(土)
毎週土曜日
九時から五時
場所：(社)神奈川県造園業協会会議室
会費：会員二万五千元
会員外三万五千元
特典：1・2級造園技能検定 学科試験免除

病害虫防除講習会

円滑な病害虫防除方法と農薬の安全かつ適正な使用を推進するため、農薬を業務で使用する方々を対象に病害虫防除講習会を左記のとおり実施します。

第二回目
日時：平成二十三年一月二十八日(金)
一時三十分

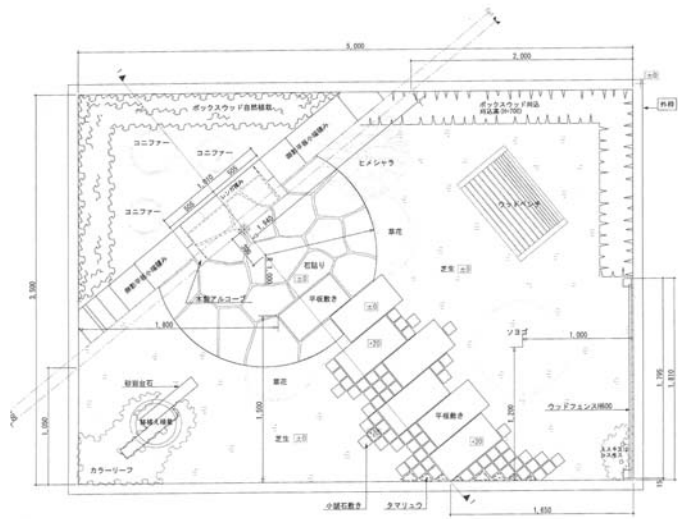
場所：かながわ県民センター 一階ホール
会費：無料

第十回親睦ゴルフ大会の開催

日時：平成二十二年十月二十六日(火)
会場：仙石ゴルフコース
会費：五千円
プレー代
一万五千七百円
(昼食・ドリンク付)

現在受講希望者を募集しております。申込希望者は協会にお問合せ下さい。なお、詳細は神造協ホームページに掲載しております。

第 48 回技能五輪全国大会造園職種競技課題 (サンセットピンク石材石張り訓練)



＜神奈川 A チーム訓練状況 平成 22 年 8 月＞



【石張り工事準備】
基準点より石張り範囲割り付け状況



【石張り石材】
加工した石材を現場に合わせ調整



【目地調整】
墨付けペンで目地の狭い部分を

平成二十二年十月二十二日から二十五日まで神奈川県で初めて技能五輪全国大会が開催されます。神奈川県大会なので県としては、全職種・種目に参加をとのことで協会に対し造園職種参加の要請がありました。参加資格は、年齢が二十三歳未満で且つ二人ペアのため候補者選出に苦慮しましたが、東京農業短期大学二年生井上瞳さんと今年卒業した新里紹征さんの参加希望があり、東京農業大学と連携しながら、横浜農業協同組合植木せり市場の一角をお借りし、庭園部会教育研修委員会の方々の協力を得て練習支援を行なっ

第四十八回技能五輪全国大会に向けての取組み

ております。競技課題が示されるまでは、基礎的練習を行なっておりまして、七月三十一日に課題(図参照)が発表されました。今回の大会は来年ロンドンで開催される世界大会の選考も兼ねますので課題は高度な内容となっております。

※事務局で練習用資材購入資金のカンパを受け付けておりますので、ご協力・ご尽力下さいますようお願い致します。



【目地砂詰め込み】
最後の一枚を貼り付け、高さを調整しながら目地を詰める。



【完成】
周辺の地盤を整地して水洗いしすべての作業を終了、完成をみる。

作庭塾 庭守活動報告

荒川 昭男

共学意識が芽生えてきた講習風景



【庭園見学 (旧古河邸樹木説明を聞く)】

多くの新会員を迎えた庭守の講習会が、充実した内容で一年間を終了しました。

様々な景色の延段を四回に亘って行うとともに、躊躇、延段、樹木、鉢に関する講話の座学を協会の会議室で行いました。

更には、庭園部会長大胡さんの指導のもと、河合玉堂邸での二日間に亘る建仁寺垣の作成等、合計七回の講習も事故なく無事に終えました。

当初は面識がないためか遠慮がちで積極性に欠けた会員達も、お互いに少しずつ打ち解けてきて、明るい和やかさを感じられるようになり、そのような雰囲気の中で新たな講習会が始まりました。

平成二十二年四月二十五日、最初の講習会は庭園見学会となりました。

新横浜駅前よりバスに乗り、東京の旧古河邸庭園、小石川後楽園、浜離宮庭園などを巡りました。

旧古河邸庭園は、古河財閥の本邸として大正六年に完成しました。敷地内の日本庭園は、京都の庭師小川治兵衛の作庭。滝を数段の小滝とした造景は治兵衛が得意とする手法で治兵衛が作庭した京都の無隣庵を彷彿とさせます。

水戸徳川初代藩主頼房、二代光圀にわたって造成された小石川後楽園は、光圀の中国好みが随所に残されており、特に明の朱舜水設計と伝えられている石造りの円月橋は、その場を離れがたくなる程の優美を宿していました。

灰燼から生まれた寄せ灯籠

新しく始まった庭守の講習第二回は、五月三十日いつものように都筑J.Aの敷地を借りて行いました。

本年度は、躊躇講習の予定です。その始めとして向鉢を組みました。用いた水鉢は、最近このような石が少なくなると言われる「じゃくれ」を持つ良形の鳥海石。閃緑岩特有のめんにコブがある小振りの本鞍馬。御影という呼称の起こりと言われている神戸御影町の大振りです。御影町は山

全体が御影(花崗岩)の六甲山の麓にあり、大阪城の石垣、京都鴨川の護岸を築くのに太閤秀吉が大量の石材を切り出させたこと伝えられています。

中でも石肌独特の「ガミ」を持つものを赤太閤、青太閤と呼び現在では入手できない幻の石。近年鴨川の護岸をコンクリートで改修した際には、不用となった太閤石を造園や石材業者が争って入手しようとしていたことを思い出します。

これ等の水鉢に筑波、鳥海、引臼、丹波鞍馬の役石で躊躇を組み、本鞍馬の飛石や富士川の延段を据え完成しました。



【余裕のある肩を持った本御影の手水鉢】

鳥海の躊躇には、大徳寺狐籠庵の寄せ灯籠の写しを据えました。狐籠庵の茶室「忘筌」前の本歌は、竿は宝塔の塔身、中台は多層塔の笠を天地逆に用い、火袋は宝篋印塔の基礎に火口を彫り、笠は五輪塔の水輪を輪切りにし、五輪塔の風空輪を宝珠に見立てた代表的な寄せ灯籠。

南北朝の争乱、天台宗徒と浄土真宗、天台宗徒と法華宗徒の争い、十一年に及ぶ応仁の乱、細川高国と細川澄元の宗家争い、一向一揆、更には大火や地震

などの災害で京都は度々焦土と化し、残された石造品は倒壊し、長い年月捨ておかれていた。後世茶人がそれに目をつけたのが寄せ灯籠の始まりと言われている。



【狐籠庵型寄せ灯籠と鳥海の手水鉢】



【完成後の総評や質疑応答は慣例】

同じ穴の庭師

六月二十七日に行われた躊躇講習二回目は、三班に別れ中鉢を組みました。

使用する材料や内容の説明を講習前にすることも慣例になりました。実技前の予備知識は大変有意義です。一班は渡部さんの指示の

と円形の深い穴を掘り、筑波ゴロ太の石積みから始まりました。手水鉢は渡部さんが用意した割肌仕上げの背の低い棗形を中腰で使う高さに据えました。あえて役石を置かず様々な要望に答えられる景色にしました。

手水鉢は、岡山の万成産石場近くから切り出されている龍王石に似ていますが確かではありません。



彰義隊は去り伽藍石のみが残された

二班は、川田さんの指導で、手水鉢は岡山の北木石で造られた四方仏の見立て物。背後の鏡石は、「うねり」と時代を感じさせる「サビ」に覆われた二石の甲州鞍馬。海は皿の如く浅く掘り木曾石を敷きつめる。

灯籠は、堂々とした火袋と優美な笠の六角活込み。石井

農園さんが用意してくれたアセビやヒサカキで背景を仕上げ、鏡石の力強さと植栽がバランス良い仕上がりとまりました。

この中鉢の景色も様々なニーズや環境に適應できると感じました。海の木曾石の畳敷きには、技能五輪に出場する新里、井上両君も参加し、今までに培った成果を遺憾なく発揮していました。



【ガーデニングにも合う立ち手水鉢の仕上り】



【柔和な仏と峻崖のような鏡石】

三班は、荒川が用意した本小松の伽藍石を手水鉢に見立てました。

今から三八五年前の寛永二年に創建された上野寛永寺の本堂の礎石です。江戸から明治と、大きく時代

が変わることになった一四二年前の戊辰戦争で、上野の寛永寺領内に立て籠もる彰義隊と官軍が激しく闘いました。

二六六名の彰義隊の戦死者は、見せしめのために、長い間野ざらしにされたと伝えられています。

その上野戦争で寛永寺の本堂の他、多くの堂塔が灰燼に帰したことです。寺院は焼失したが無数の伽藍石が残されました。その中の一石に水穴を穿ち見立てました。鏡石は木曾石を立石で二石組み、左右の役石は、刀掛けにも使える筑波の二段石と、滋賀県田上の舟石を組みました。

灯籠は創作織部を据えましたが、キリシタン灯籠の別称に基づき、竿に細工を施しクルスをより具象化した貫抜仕上げになっています。

灯籠の作者は、滋賀県北小松の石工故増尾貞三氏で、長いお付き合いをさせて頂きました。が、五年程前に亡くなりました。

庭守の次回講習の予定は、九月に躊躇三回目として両使い、十一月の四回目は降り躊躇を予定しています。



【堂々とした伽藍石からは栄枯盛衰は感じられない】

刺激に満ち溢れた庭守

千鳥造園工事(株)
遠藤光哉

庭守を知り、参加を決意してから早くも一年以上が経ちましたが、今となってみると当時の「決意」は自分にとって重要な、そして大きな影響を与えるきっかけでした。

まず、毎回の講習は、濃密の一言に尽きます。単に技能の講習にとどまらず、目指すレベルが大変高いのです。延段や建仁寺垣、蹲踞をこの一年間で順番に取り組みましたが、指導していただく先生方も経験と自信に溢れた「本物」であれば、用いる材料も「本物」で、独特の緊張感が漂っていました。

単に先生の言うとおりに動くのではなく、皆で考え全員で取り組んでいきます。まだまだ経験の浅い私は、この深い講習会になかなか満足についていくことが出来ませんでした。個々の石と積極的に向き合ううちに徐々に石に対する抵抗感が薄れてきたのか、石が他人行儀でなくな

●会員名簿の変更● (平成 21 年度名簿)

- 新入会員
 - 港北支部
 - 嶋村園
 - 代表者 嶋村俊之
 - 〒223-0062 横浜市港北区日吉本町6-18-11
 - Tel045-563-8927 Fax045-563-8927
 - 横浜南支部
 - 庭研 (横浜庭園研究室)
 - 代表者 川村利夫
 - 〒232-0032 横浜市南区万世町1-7和田ビル202
 - Tel045-325-8895 Fax045-241-0138
 - 横浜東支部
 - 旬神金造園
 - 代表者 高橋裕幸
 - 〒238-0022 横浜東区公郷町5-25
 - Tel046-852-0066 Fax046-852-0166
- 社名・代表者変更
 - 港北支部
 - (会員名簿P.27)
 - 社名 藤好園 → 藤森グリーン (会員名簿P.27)
 - 社名 小嶋園 → 小嶋建物業 (会員名簿P.27)
 - 代表者 小嶋昭一 → 小嶋友子
 - 緑西支部
 - (会員名簿P.31)
 - 代表者 河原満 → 河原秀明
 - 神奈川支部
 - 中山造園 (会員名簿P.34)
 - 代表者 中山定雄 → 横山康雄
 - Tel045-481-3562 Fax045-491-5640
 - 金沢・磯子支部
 - 日光緑化建設 (会員名簿P.44)
 - 代表者 池田勇 → 池田英明
 - 磯子支部
 - (会員名簿P.44)
 - 代表者 天野一敏 → 瓜生誠二郎
 - 川崎北支部
 - 村木園 (会員名簿P.51)
 - 代表者 村木信一 → 村木健一
 - 湘南中央支部
 - (会員名簿P.63)
 - 社名 藤好園 → 藤森グリーン
 - 賛助会員
 - 谷口産業 (会員名簿P.73)
 - 代表者 谷口強 → 谷口浩司
 - 住所変更
 - 港北支部
 - 植宗Iカリア (会員名簿P.27)
 - 〒221-0863 横浜市神奈川区羽沢町821
 - 代表者 高澤正比古
 - Tel045-442-3795 Fax045-442-3796
 - 川崎南支部
 - 藤グリーンネットワーク (会員名簿P.50)
 - 〒211-0053 川崎市中原区宮内2-20-22-101
 - Tel044-755-2319 Fax044-863-4089
 - 賛助会員
 - 青木伸久税理士事務所 (会員名簿P.75)
 - 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町3949番地
 - Tel045-864-7900 Fax045-864-0250
 - 住所訂正
 - 横浜中央支部
 - 藤大匠緑化建設 (会員名簿P.46)
 - 〒231-0861 横浜市中区元町2丁目80番地
 - FAX変更
 - 戸塚支部
 - 藤日産列イイワリサービス (会員名簿P.41)
 - Fax045-814-2002 → 045-814-7331

つてきたような気がして、触るのが楽しくなってきました。ともすると、回が進むにつれて気も緩みがちになります。そこはやはり緊張が続いていました。「石を扱う時は歯を見せるな」と喝が入りますし、職人としての所作についても注意を受け、姿勢も学びました。

基本的な知識はもとより、その本質を理解することが求められ、背景となっている歴史や文化など学ぶことが多岐にわたりました。四方仏の手水鉢を組む際に画かれている四方仏の名前(葉師・釈迦・阿弥陀・弥勒)や方角、見分け方まで話が及んだ時には、深い森に迷い込んだような気分になりましたが、同時に不思議と気分も高揚して楽しさすら感じました。また諸先輩方を含む「仲間」の存在は、私に大変な刺激を与えてくれました。仲間の中でも分らない事やコツを教えてもらい勉強になりました。「皆のような動きが出来るようになっていたい」という目標も出来ました。

参加者は、経験年数も年齢もバラバラですが、皆一様に「造園の技能をモノにしよう」という意識が強く、向上心のある人達に囲まれて毎回とても新鮮な刺激を受けてきました。ここで知り合った「仲間」は、やる気と元気をもたすかけがえのない存在です。まだまだ教わった事を十分に吸収しているとは言えませんが、高いレベルを目指すゆえに、知識と経験が豊富な先生方の指導の下、素敵な仲間達とともに参加していくのが今後とも楽しみです。

初めての研修は、延段作りでした。石を扱うことも初めてで、使用したくない道具に戸惑いながらも、見よう見まねで作

(株)湘南グリーン サービス田口繭子

事務局情報 (月間行事一覧) ●諸会議その他●

9/3 (金)	公園緑地部会 公園緑地部会技術研修委員会
9/7 (火)	情報委員会 第48回技能五輪全国大会出場選手支援会議
9/8 (水)	公益法人制度検討委員会正副委員長会議
9/14 (火)	総務・厚生委員会大会下見 (仙石グリーンコース)
9/26 (日)	庭守講習会 (横浜農協きた地区営農センター)
9/29 (水)	刈払機取扱安全講習会 (日産メカアム内横浜市緑区医療科学センター)
10/3 (日)	第31回よこはま技能まつり (横浜公園)
10/7 (木)	刈払機取扱安全講習会 (平塚馬入ふれあい公園)
10/15 (金)	関東甲信造園建設業協会協議会 (横浜三溪園他)
10/16 (土)	造園技能士コース開校式
10/23 (土)	造園技能士コース (第2回)
10/23~24 (土・日)	第48回技能五輪全国大会 (神奈川県)
10/26 (火)	第10回親睦大会 (仙石グリーンコース)
10/30 (土)	造園技能士コース (第3回)

業しました。力任せの石の動かし方、常に石を汚さない様に意識する、動線に物を置かないなど日々の作業で常にその先を意識して動く事を学びました。また、少人数の作業でも多く石を様々な角度から見られ、石の面白さと同時に難しさを痛感させられました。石は据え方によって様々な表情を見せ、重量感、存在感や歴史までも感じさせてくれました。庭守に参加して、これまでも見よう見まねで作

の表情を意識して見るようになりまし。先人達が残してくれた様々な庭がとも興味深い物となりました。今後の自分の仕事の中にこの経験を生かし、より良い庭作りに反映していきたいと思。まだ駆け出しですが自分の体で一つ一つ覚えていきたいと思います。



チャペル / ルーム
ヴァンセーヌ / 上海酒家



客室数50室/大小宴会場10
中国料理 上海酒家
レストラン ヴァンセーヌ
ティーラウンジ

ホテル横浜ガーデン

〒231-0023 横浜市中区山下町254番地
TEL 045-641-1311

湘南ホテルマネジメント株式会社
グランドホテル湘南

造園技能士実技講習会・実技検定試験開催

実技講習会

七月十七日から二十日迄の四日間横浜農協きた地区営農経済センターに於いて開催された。一級六十五名、二級四十一名、三級一名計百七名が受講し、例年になく猛暑の中、十名の指導員の熱心な指導を受け大汗をかきながら一生懸命取り組んでいた。また、苦手の要素模擬試験の結果に一喜一憂し、要素の解説に真剣に耳目を傾けていた。

今年度は暑さのため途中リタイヤする者が多かった。



【造園技能士実技講習会 (1 級モデル前説明)】



【造園技能士実技講習会 (会場設営)】



【造園技能士実技講習会 (1 級指導風景)】



【造園技能士実技講習会 (2 級指導風景)】



【造園技能士実技講習会 (要素模擬テスト)】

検定実技試験

七月三十一日から八月二日迄三日間実技検定試験がおこなわれた。

今年七月の初めは天候不順で雨が多かったが、梅雨明け後は、一転して異常な猛暑が続き、熱中症対策として試験開始一時間三十分後に十五分の休憩をとり、熱中塩アメを受検生に配った。

今年の検定受検者は、一級百十二名、二級百十四名、三級五十一名計二百七十七名で検定員・補佐員の見守る中、これまでの研鑽と日頃培った技を發揮すべく暑



【検定実技試験 (受験風景)】



【検定実技試験 (1 級受験風景)】



【検定実技試験 (2 級受験風景)】



【検定実技試験 (3 級受験風景)】

1・2級造園技能士 学科講習会を開催

八月十一日かながわ労働プラザにおいて1・2級造園技能士学科講習会を教育研修委員会四人の講師により午前・午後にわたり教本造園施工必携とサブテキストを基に熱心に講義が行われ、1級三十三名、2級二十四名計五十四名の受講生が真剣にメモを取っていた。



【1・2 級造園技能士学科講習会】

編集後記

今年、天候不順で各地で長雨とゲリラ豪雨により土砂崩れ等の被害があり、また、梅雨明け後は一転して想像を絶する猛暑が続き全国で熱中症による被害が連日報道されました。

このような中で、休憩時間を設けたり、熱中給を配る等熱中症対策を講じながら協会の一大事業である造園技能検定実技講習会・実技試験も無事に終わりほつとしております。

異常気象に左右されない安全・安心を確保するための公共事業による緑化や治山・治水の大切さが改めて認識されます。

支部だより

ライティングの研修会を終えて

戸塚支部青年部 前田 健



【勉強会風景】

戸塚支部青年部の今回の勉強会は「ライティングの研修会」と題して、三月十日夕刻より開催されました。三月とはいえ、この日は夕方から冷え込み、寒い晩でしたが、会場である木下庭園管理さんの配慮により、炭火で暖を取りながらの勉強会でした。

内容は、電気と明るさについての基礎知識から配線工事の基本、ライトの配置や演出方法にいたるまで盛りだくさんのプログラムでした。電気の基礎については、確

か中学か高校で勉強したことでしたが、すっかり忘れていたことでした。LED照明器具の使用電力は、想像以上に少ないもので、電気料金の負担はごく僅かであること

五月二十三日(日)に緑支部青年部の研修会を行いました。泉城青年部からも小菅部長含む二名参加いただき総勢十五名で行な



【青年部研修会参加者】

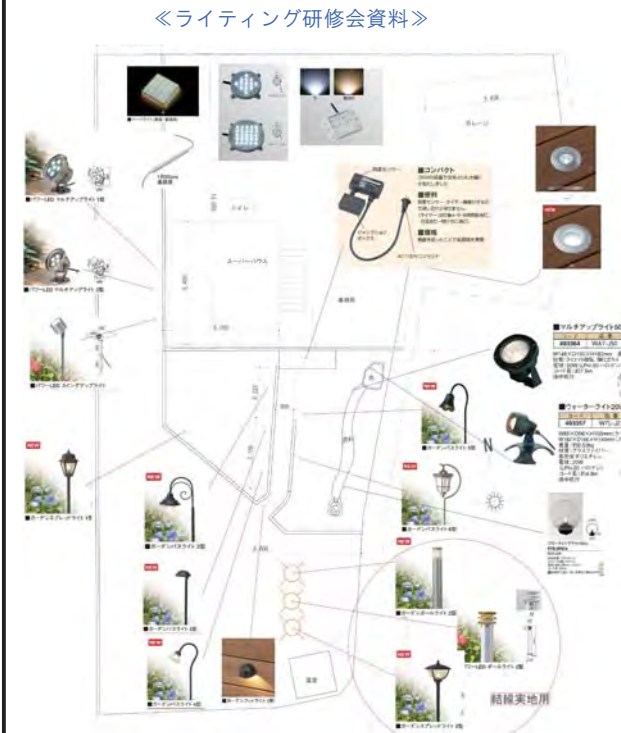
緑支部 青年部研修会

緑支部青年部部长 織茂利治

早速青木さんと飯田さんの指導の下サンドブラストで石材に字を刻む実技体験が始まりました。

午前中に文字の切り抜きも終わり昼食後、サンドブラストの作業も切り抜いた文字を担当した者が行

午後中に文字の切り抜きも終わり昼食後、サンドブラストの作業も切り抜いた文字を担当した者が行



《ライティング研修会資料》

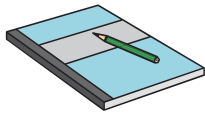
やはりお客様にプランの説明する際には、こういう基礎的な知識が、厚みのある会話につながるだろうと再認識しました。

木下講師におかれましては、資料や機材の準備にはご苦労があったかと思いま

朝、青木石材店に集合した後、青木さんの紹介で茅ヶ崎市にある菅原石材店の工場に移動し、そこで本日

また、会場の都合上、泉城青年部の方々を大勢招待することが出来

今後は庭園の演出に幅がで、より上質な提案ができそうです。



【石材に字を刻む】



【作業風景】



【川崎南支部研修会参加者】

「川崎南支部 知床研修旅行」 千鳥造園工事株式会社 遠藤光哉



【完成作品】

夏の気配を感じさせる五月、総会が相次いで開催される中、川崎南支部では総会と研修をかねて北海道東の知床、釧路へ行きま

女満別空港から網走を通過してオホーツク海を眺めながら知床へ。知床の自然を堪能した後は摩周湖を通過して阿寒湖へ。最終日は釧路空港から帰路につく、という二泊三日の旅程でした。我々が行く直前まで天気が悪く、寒い日が続いていたという北海道ですが、爽やかな川崎の風を持ち込んだ八人を歓迎するかのよう、素晴らしい天気と比較的温暖的な気候で迎えられました。天気の良さは最終日まで概ね続き、一時降った雨も観光には支障がなく、参加者の普段の行いの良さを映しているようでした。「神秘的湖」までも遠くまで見渡せる有様でしたが、あれよあれよという間に曇り、「霧の摩周湖」への変化も目の当りにできるという幸運さに恵まれました。今回の研修旅行のなかで、とても印象的だったのは、知床五湖を散策しているときに何度も見かけた、根を岩を抱く巨木でした。知床連山を背景に穏やかな表情を見せる湖のほとりで、巨石にしっかりと根を張り大木に成長している木々を見ると、そこに生命力の強さを感じるとともに、困難に負けずに力強く生きる姿勢を学びました。エゾムラサキツツジが満開のなか、シラカンバやエドマツ、カラマツなどといった木々を眺め、キツネやシカ、オジロワシといった動物も見ることができ、大自然を満喫できた三日間でした。参加者一同、清らかな心をもって臨んだ総会も滞りなく執り行なわれ、有意義な研修となりました。